

瀬戸内国際芸術祭2025開催に向けた円滑な受入環境の整備に関する検討プロジェクトチーム(PT)の概要



背景・問題意識

- 瀬戸内国際芸術祭2025に向けて懸念される、海上交通の混雑緩和や積み残し、島内交通の確保等の課題に対応し、ストレスフリーな受入環境整備及び来訪者の利便性・満足度向上を図る。
※英語版ナショナル・ジオグラフィック・トラベラー誌が発表した「2019年行くべき旅行先」にSETOUCHIが第1位、NYタイムズが発表した「2019年に行くべき52カ所」で「瀬戸内海の島々」が第7位に選出されるなど、外国人において瀬戸内の注目度が高まっている。

取組方針

- 観光・交通政策等を所管する四国運輸局として、「瀬戸内国際芸術祭2025開催に向けた円滑な受入環境の整備に関する検討プロジェクトチーム(PT)」を設置し、交通事業者や関係自治体等と連携しながら、特に安全確保に配慮しつつ、来訪者の移動時における「**積み残しゼロ**」を目指す。

検討プロジェクトチーム

【構成員】PT長：四国運輸局次長(観光政策担当)

交通政策部長、観光部長、鉄道部長、自動車交通部長、自動車技術安全部長、海事振興部長、海上安全環境部長

【活動内容】ワーキンググループ(WG)として、「海上交通WG」と「島内交通WG」の2つを設置し、各モードにおける課題の解決に向けた議論を行い、万全の対策を講じる。

海上交通WG

(議論するテーマ)

- ①会期中の臨時航路の開設、既存航路の増便
- ②臨時便の確保に向けた運航事業者との調整
- ③情報提供、法的助言や国の支援策の紹介

(構成員)

海事振興部長(リーダー)、交通政策部交通企画課長、観光部観光企画課長、海上安全環境部船舶安全環境課長

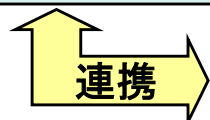
島内交通WG

(議論するテーマ)

- ①会期中の臨時バス路線の開設、既存バス路線の増便、ルート・ダイヤの見直し
- ②上記①に向けた運行事業者との調整
- ③情報提供、法的助言や国の支援策の紹介

(構成員)

自動車交通部長(リーダー)、交通政策部交通企画課長、観光部観光企画課長、鉄道部計画課長、自動車技術安全部整備・保安課長



瀬戸内国際芸術祭
実行委員会

関係自治体
(県・市町)

交通事業者・事業者団体
(フェリー、バス、タクシー)

